

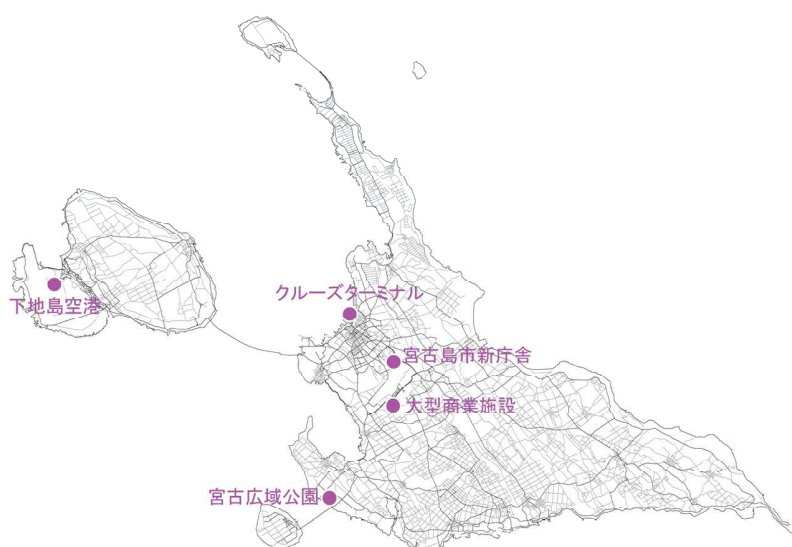
## 6 将来交通需要の展望

### (1) 将来推計の把握

本市の交通需要に関する将来予測については、以下の前提条件のもと、推計されています。

- ・予測年次は、平成27年（現況）、平成42年（将来）とする。  
（現況交通量の予測については、交通量推計の妥当性を判断するため、平成27年道路交通センサス年次とした。）
- ・道路ネットワークについては、平成27年現況道路ネットワークと平成42年（将来）道路ネットワークを使用するものとする。
- ・また、OD表については、平成42年（将来）OD表（H17ベース）と沖縄ブロック別走行台キロの伸び率を用い、平成27年現況OD表を作成し使用するものとする。OD表には、レンタカー車両が考慮されていないため、既存交通量観測結果のレンタカー混入率の平均値（11.2%）を使用し、レンタカーを考慮している。
- ・平成42年（将来）OD表は、沖縄県で作成された、平成42年（将来）OD表をベースに使用する。
- ・将来道路ネットワークの設定においては、以下の内容を考慮している。
  - …現況ネットワーク（平成27年）と平成42年（将来）ネットワークの違いは、城辺下地線（友利線との交差点から来間大橋まで）2車線整備
  - …平成42年（将来）OD表に、下記の開発計画を考慮
    - ・宮古島市新庁舎【平成33年度（2021年度）】：400台
    - ・大型商業施設（サンエー）【平成32年度（2020年秋）】：9,600台
    - ・クルーズ船ターミナル【平成32年度（2020年4月）】：650台
    - ・宮古広域公園【未定】：500台
    - ・下地島空港（H31）【平成30年度（平成31年3月）】：216台

#### (開発位置図)



出典：平成27年度沖縄県道路交通センサス

この将来需要予測（OD表）をもとに、最新の沖縄ブロック別走行台キロの伸び率を用い、OD表を補正するとともに、本市の将来の交通需要について展望します。

最新の沖縄ブロック別走行台キロの伸び率による補正では、中間年次の平成42・令和12（2030）年における将来自動車交通量は、120,670台となり、全体で3.7%減少となる。地区別にみると、宮古島市4区（城辺）の減少が最も大きく、7.9%減少となっており、域内においては10.4%減少となります。また、現況の平成27（2015）年と比較すると、全体で10.6%増加となります。

（現況：H27（2015）OD）

		着							
		宮古島市1区 （平良）	宮古島市2区 （宮古空港）	宮古島市3区 （平良港）	宮古島市4区 （城辺）	宮古島市5区 （下地）	宮古島市6区 （上野）	宮古島市8区 （伊良部）	計
発	宮古島市1区 （平良）	60,553	1,050	509	3,233	2,708	2,757	3,364	74,174
	宮古島市2区 （宮古空港）	1,050	39	8	76	55	47	74	1,349
	宮古島市3区 （平良港）	533	8	21	69	63	85	48	827
	宮古島市4区 （城辺）	3,234	76	66	4,946	525	814	426	10,087
	宮古島市5区 （下地）	2,708	55	62	525	1,656	761	347	6,114
	宮古島市6区 （上野）	2,758	47	81	814	762	1,897	331	6,690
	宮古島市8区 （伊良部）	3,364	74	47	426	347	330	5,264	9,852
	計	74,200	1,349	794	10,089	6,116	6,691	9,854	109,093

（将来：H42（中間年次\_2030：R12）OD）【補正前】

		着							
		宮古島市1区 （平良）	宮古島市2区 （宮古空港）	宮古島市3区 （平良港）	宮古島市4区 （城辺）	宮古島市5区 （下地）	宮古島市6区 （上野）	宮古島市8区 （伊良部）	計
発	宮古島市1区 （平良）	68,471	1,184	570	3,739	3,056	3,190	3,822	84,032
	宮古島市2区 （宮古空港）	1,184	44	9	86	63	57	84	1,527
	宮古島市3区 （平良港）	595	10	23	81	73	96	56	934
	宮古島市4区 （城辺）	3,741	86	78	6,288	616	1,005	497	12,311
	宮古島市5区 （下地）	3,056	63	70	616	1,928	902	396	7,031
	宮古島市6区 （上野）	3,191	57	92	1,005	903	2,339	387	7,974
	宮古島市8区 （伊良部）	3,822	84	54	497	396	386	6,236	11,475
	計	84,060	1,528	896	12,312	7,035	7,975	11,478	125,284

（将来：H42（中間年次\_2030：R12）OD）【補正後】

		着							
		宮古島市1区 （平良）	宮古島市2区 （宮古空港）	宮古島市3区 （平良港）	宮古島市4区 （城辺）	宮古島市5区 （下地）	宮古島市6区 （上野）	宮古島市8区 （伊良部）	計
発	宮古島市1区 （平良）	66,922	1,132	564	3,566	2,987	3,072	3,721	81,964
	宮古島市2区 （宮古空港）	1,132	40	9	80	59	52	80	1,452
	宮古島市3区 （平良港）	591	9	23	77	70	95	53	918
	宮古島市4区 （城辺）	3,567	80	74	5,633	585	921	475	11,335
	宮古島市5区 （下地）	2,987	59	69	585	1,849	854	385	6,788
	宮古島市6区 （上野）	3,073	52	90	921	855	2,153	371	7,515
	宮古島市8区 （伊良部）	3,721	80	52	475	385	370	5,615	10,698
	計	81,993	1,452	881	11,337	6,790	7,517	10,700	120,670

(将来：H42（中間年次\_2030：R12）0D）（増減率：補正前後の増減割合）

		着							
		宮古島市1区 (平良)	宮古島市2区 (宮古空港)	宮古島市3区 (平良港)	宮古島市4区 (城辺)	宮古島市5区 (下地)	宮古島市6区 (上野)	宮古島市8区 (伊良部)	計
発	宮古島市1区 (平良)	-2.3%	-4.4%	-1.1%	-4.6%	-2.3%	-3.7%	-2.6%	-2.5%
	宮古島市2区 (宮古空港)	-4.4%	-9.1%	0.0%	-7.0%	-6.3%	-8.8%	-4.8%	-4.9%
	宮古島市3区 (平良港)	-0.7%	-10.0%	0.0%	-4.9%	-4.1%	-1.0%	-5.4%	-1.7%
	宮古島市4区 (城辺)	-4.7%	-7.0%	-5.1%	-10.4%	-5.0%	-8.4%	-4.4%	-7.9%
	宮古島市5区 (下地)	-2.3%	-6.3%	-1.4%	-5.0%	-4.1%	-5.3%	-2.8%	-3.5%
	宮古島市6区 (上野)	-3.7%	-8.8%	-2.2%	-8.4%	-5.3%	-8.0%	-4.1%	-5.8%
	宮古島市8区 (伊良部)	-2.6%	-4.8%	-3.7%	-4.4%	-2.8%	-4.1%	-10.0%	-6.8%
	計	-2.5%	-5.0%	-1.7%	-7.9%	-3.5%	-5.7%	-6.8%	-3.7%

(将来：H42（中間年次\_2030：R12）0D）（増減率：現況（H27）からの増減率）

		着							
		宮古島市1区 (平良)	宮古島市2区 (宮古空港)	宮古島市3区 (平良港)	宮古島市4区 (城辺)	宮古島市5区 (下地)	宮古島市6区 (上野)	宮古島市8区 (伊良部)	計
発	宮古島市1区 (平良)	10.5%	7.8%	10.8%	10.3%	10.3%	11.4%	10.6%	10.5%
	宮古島市2区 (宮古空港)	7.8%	2.6%	12.5%	5.3%	7.3%	10.6%	8.1%	7.6%
	宮古島市3区 (平良港)	10.9%	12.5%	9.5%	11.6%	11.1%	11.8%	10.4%	11.0%
	宮古島市4区 (城辺)	10.3%	5.3%	12.1%	13.9%	11.4%	13.1%	11.5%	12.4%
	宮古島市5区 (下地)	10.3%	7.3%	11.3%	11.4%	11.7%	12.2%	11.0%	11.0%
	宮古島市6区 (上野)	11.4%	10.6%	11.1%	13.1%	12.2%	13.5%	12.1%	12.3%
	宮古島市8区 (伊良部)	10.6%	8.1%	10.6%	11.5%	11.0%	12.1%	6.7%	8.6%
	計	10.5%	7.6%	11.0%	12.4%	11.0%	12.3%	8.6%	10.6%

さらに、最新の沖縄ブロック別走行台キロの伸び率を用いて推計すると、目標年次の2040（令和22）年における将来自動車交通量は、127,624台となり、現況の2015（平成27）年と比較すると、全体で17.0%増加となります。中間年次の2030（令和12）年と比較すると、全体で1.9%増加となります。

最新の沖縄ブロック別走行台キロの伸び率（参考）を見ると、合計が1.0未満となるのが目標年次の2040（令和22）年となっており、ピークを迎え、以降減少していくものと推測されます。

(将来：R22（目標年次\_2040）0D)

		着							
		宮古島市1区 (平良)	宮古島市2区 (宮古空港)	宮古島市3区 (平良港)	宮古島市4区 (城辺)	宮古島市5区 (下地)	宮古島市6区 (上野)	宮古島市8区 (伊良部)	計
発	宮古島市1区 (平良)	70,428	1,181	594	3,760	3,141	3,249	3,918	86,271
	宮古島市2区 (宮古空港)	1,181	40	9	82	61	55	84	1,512
	宮古島市3区 (平良港)	621	9	24	81	74	100	56	965
	宮古島市4区 (城辺)	3,761	82	78	6,053	620	985	503	12,082
	宮古島市5区 (下地)	3,141	61	72	620	1,957	907	406	7,164
	宮古島市6区 (上野)	3,250	55	96	985	908	2,304	393	7,991
	宮古島市8区 (伊良部)	3,918	84	55	503	406	392	6,281	11,639
	計	86,300	1,512	928	12,084	7,167	7,992	11,641	127,624

(将来：R22 (2040) OD) (増減率：現況 (H27) からの増減率)

		着							
		宮古島市1区 (平良)	宮古島市2区 (宮古空港)	宮古島市3区 (平良港)	宮古島市4区 (城辺)	宮古島市5区 (下地)	宮古島市6区 (上野)	宮古島市8区 (伊良部)	計
発	宮古島市1区 (平良)	16.3%	12.5%	16.7%	16.3%	16.0%	17.8%	16.5%	16.3%
	宮古島市2区 (宮古空港)	12.5%	2.6%	12.5%	7.9%	10.9%	17.0%	13.5%	12.1%
	宮古島市3区 (平良港)	16.5%	12.5%	14.3%	17.4%	17.5%	17.6%	16.7%	16.7%
	宮古島市4区 (城辺)	16.3%	7.9%	18.2%	22.4%	18.1%	21.0%	18.1%	19.8%
	宮古島市5区 (下地)	16.0%	10.9%	16.1%	18.1%	18.2%	19.2%	17.0%	17.2%
	宮古島市6区 (上野)	17.8%	17.0%	18.5%	21.0%	19.2%	21.5%	18.7%	19.4%
	宮古島市8区 (伊良部)	16.5%	13.5%	17.0%	18.1%	17.0%	18.8%	19.3%	18.1%
	計	16.3%	12.1%	16.9%	19.8%	17.2%	19.4%	18.1%	17.0%

(将来：R22 (2040) OD) (増減率：中間年次\_2030 (R12) からの増減率)

		着							
		宮古島市1区 (平良)	宮古島市2区 (宮古空港)	宮古島市3区 (平良港)	宮古島市4区 (城辺)	宮古島市5区 (下地)	宮古島市6区 (上野)	宮古島市8区 (伊良部)	計
発	宮古島市1区 (平良)	2.9%	-0.3%	4.2%	0.6%	2.8%	1.8%	2.5%	2.7%
	宮古島市2区 (宮古空港)	-0.3%	-9.1%	0.0%	-4.7%	-3.2%	-3.5%	0.0%	-1.0%
	宮古島市3区 (平良港)	4.4%	-10.0%	4.3%	0.0%	1.4%	4.2%	0.0%	3.3%
	宮古島市4区 (城辺)	0.5%	-4.7%	0.0%	-3.7%	0.6%	-2.0%	1.2%	-1.9%
	宮古島市5区 (下地)	2.8%	-3.2%	2.9%	0.6%	1.5%	0.6%	2.5%	1.9%
	宮古島市6区 (上野)	1.8%	-3.5%	4.3%	-2.0%	0.6%	-1.5%	1.6%	0.2%
	宮古島市8区 (伊良部)	2.5%	0.0%	1.9%	1.2%	2.5%	1.6%	0.7%	1.4%
	計	2.7%	-1.0%	3.6%	-1.9%	1.9%	0.2%	1.4%	1.9%

また、市街地（宮古島市1～3区）と郊外部（宮古島市4～8区）、伊良部の関係を見ると、台数は増加傾向にありますが、市街地内 OD は全体の 58%程度となっており減少傾向にあります。一方、郊外間 OD は、増加傾向にあります。市街地・伊良部間は、増加傾向にあります。

	市街地内	郊外間	市街地⇒郊外 郊外⇒市街地	市街地 ⇔伊良部
現況： H27 (2015) OD	63,771 台 (58.5%)	20,171 台 (18.5%)	12,579 台 (11.5%) 12,572 台 (11.5%)	3,486 台 (2.9%)
将来： 中間年次_2030 (R12) OD	70,422 台 (58.4%)	22,432 台 (18.6%)	13,912 台 (11.5%) 13,904 台 (11.5%)	3,854 台 (3.2%)
将来： 目標年次_2040 (R22) OD	74,087 台 (58.1%)	24,223 台 (19.0%)	14,653 台 (11.5%) 14,661 台 (11.5%)	4,058 台 (3.4%)

(参考) ブロック別・車種別走行台キロの年次別伸び率 (令和4年2月 国土交通省)

H27ベース走行台キロ伸び率

	沖 縄				全 国			
	乗用車	普通貨物車	小型貨物車	合計	乗用車	普通貨物車	小型貨物車	合計
1970-1971	1.06297	1.01956	0.98576	1.03863	1.06297	1.01956	0.98576	1.03396
1971-1972	1.05924	1.01919	0.98555	1.03719	1.05924	1.01919	0.98555	1.03285
1972-1973	1.05593	1.01883	0.98534	1.03586	1.05593	1.01883	0.98534	1.03180
1973-1974	1.05296	1.01848	0.98512	1.03462	1.05296	1.01848	0.98512	1.03082
1974-1975	1.05030	1.01814	0.98490	1.03346	1.05030	1.01814	0.98490	1.02990
1975-1976	1.05999	1.09710	1.08349	1.06700	1.05999	1.09710	1.08349	1.06943
1976-1977	1.05659	1.08851	1.07706	1.06280	1.05659	1.08851	1.07706	1.06492
1977-1978	1.05356	1.08131	1.07154	1.05909	1.05356	1.08131	1.07154	1.06097
1978-1979	1.05084	1.07520	1.06677	1.05579	1.05084	1.07520	1.06677	1.05746
1979-1980	1.04838	1.06994	1.06259	1.05284	1.04838	1.06994	1.06259	1.05434
1980-1981	1.04911	1.00944	1.04650	1.02506	1.04911	1.00944	1.04650	1.02542
1981-1982	1.03192	1.02144	1.04515	1.03456	1.03192	1.02144	1.04515	1.03446
1982-1983	1.01223	1.04438	1.05717	1.02486	1.01223	1.04438	1.05717	1.02783
1983-1984	1.01819	1.05867	1.04396	1.02681	1.01819	1.05867	1.04396	1.02962
1984-1985	1.03501	1.04879	1.05902	1.04190	1.03501	1.04879	1.05902	1.04335
1985-1986	1.03074	1.06110	1.06140	1.04037	1.03074	1.06110	1.06140	1.04288
1986-1987	1.03015	1.07318	1.07482	1.04440	1.03015	1.07318	1.07482	1.04802
1987-1988	1.04269	1.08593	1.05056	1.04733	1.04269	1.08593	1.05056	1.04984
1988-1989	1.06084	1.06255	1.00366	1.04530	1.06084	1.06255	1.00366	1.04363
1989-1990	1.07018	1.05184	0.99938	1.05047	1.07018	1.05184	0.99938	1.04733
1990-1991	1.04948	0.98672	1.01127	1.03611	1.04948	0.98672	1.00988	1.04620
1991-1992	1.03622	0.97409	0.99931	1.02362	1.03622	0.97409	0.99792	1.03316
1992-1993	1.01190	0.95096	0.97661	1.00013	1.02088	1.02146	0.97522	1.00906
1993-1994	1.01933	0.95755	0.98450	1.00799	1.02782	1.02836	0.98307	1.01662
1994-1995	1.05051	1.07033	1.02046	1.04468	1.05292	1.03713	0.99919	1.03791
1995-1996	1.03678	1.05476	1.00817	1.03135	1.03900	1.02424	0.98687	1.02498
1996-1997	1.02074	1.03708	0.99354	1.01570	1.02279	1.00901	0.97227	1.00971
1997-1998	1.01343	1.02845	0.98733	1.00869	1.01534	1.00234	0.96590	1.00301
1998-1999	1.03671	1.05098	1.01088	1.03212	1.03854	1.02590	0.98864	1.02656
1999-2000	1.01847	0.98604	1.04313	1.02170	1.01947	1.01384	0.99755	1.01437
2000-2001	1.02472	0.99182	1.04865	1.02793	1.02572	1.02010	1.00350	1.02063
2001-2002	1.00521	0.97228	1.02786	1.00831	1.00617	1.00071	0.98421	1.00123
2002-2003	1.00847	0.97473	1.03042	1.01153	1.00942	1.00399	0.98722	1.00451
2003-2004	0.99162	0.95771	1.01248	0.99458	0.99254	0.98725	0.97053	0.98776
2004-2005	0.98915	0.95455	1.00929	0.99206	0.99006	0.98482	0.96792	0.98533
2005-2006	0.98747	0.98439	0.92651	0.97345	0.99489	0.99940	0.98147	0.99300
2006-2007	0.99681	0.99362	0.92978	0.98214	1.00442	1.00897	0.99058	1.00249
2007-2008	0.97388	0.97068	0.90209	0.95900	0.98142	0.98588	0.96762	0.97952
2008-2009	0.99487	0.99152	0.91390	0.97909	1.00269	1.00725	0.98829	1.00073
2009-2010	0.99169	0.98826	0.90182	0.97534	0.99960	1.00416	0.98493	0.99763
2010-2011	0.99962	1.03467	1.03086	1.00648	1.00117	0.98632	0.99422	0.99812
2011-2012	1.02483	1.05918	1.05556	1.03174	1.02640	1.01115	1.01933	1.02330
2012-2013	1.00262	1.03479	1.03150	1.00926	1.00413	0.98920	0.99726	1.00114
2013-2014	0.99379	1.02437	1.02133	1.00027	0.99527	0.98045	0.98851	0.99234
2014-2015	1.00578	1.03549	1.03262	1.01222	1.00726	0.99224	1.00046	1.00432
2015-2016	1.00655	1.01210	0.99362	1.00444	0.99857	1.00778	0.98573	0.99751
2016-2017	1.00650	1.01196	0.99358	1.00442	0.99857	1.00772	0.98552	0.99750
2017-2018	1.00646	1.01181	0.99354	1.00440	0.99857	1.00766	0.98531	0.99750
2018-2019	1.00642	1.01168	0.99350	1.00438	0.99857	1.00761	0.98509	0.99749
2019-2020	1.00638	1.01154	0.99345	1.00436	0.99857	1.00755	0.98487	0.99749
2020-2021	1.00634	1.01141	0.99341	1.00434	0.99856	1.00749	0.98463	0.99748
2021-2022	1.00630	1.01128	0.99337	1.00433	0.99856	1.00744	0.98439	0.99747
2022-2023	1.00626	1.01116	0.99332	1.00431	0.99856	1.00738	0.98415	0.99747
2023-2024	1.00622	1.01103	0.99328	1.00429	0.99856	1.00733	0.98389	0.99746
2024-2025	1.00618	1.01091	0.99323	1.00427	0.99855	1.00727	0.98363	0.99745
2025-2026	1.00614	1.01079	0.99319	1.00425	0.99855	1.00722	0.98335	0.99745
2026-2027	1.00611	1.01068	0.99314	1.00423	0.99855	1.00717	0.98307	0.99744
2027-2028	1.00607	1.01057	0.99309	1.00422	0.99855	1.00712	0.98278	0.99743
2028-2029	1.00603	1.01046	0.99304	1.00420	0.99855	1.00707	0.98248	0.99743
2029-2030	1.00600	1.01035	0.99300	1.00418	0.99854	1.00702	0.98217	0.99742
2030-2031	1.00451	1.01002	0.99662	1.00359	0.99653	1.00581	0.99008	0.99692
2031-2032	1.00449	1.00992	0.99661	1.00358	0.99652	1.00578	0.98998	0.99691
2032-2033	1.00447	1.00982	0.99660	1.00357	0.99651	1.00574	0.98988	0.99690
2033-2034	1.00445	1.00973	0.99658	1.00356	0.99649	1.00571	0.98978	0.99689
2034-2035	1.00443	1.00963	0.99657	1.00354	0.99648	1.00568	0.98967	0.99688
2035-2036	1.00441	1.00954	0.99656	1.00353	0.99647	1.00564	0.98956	0.99687
2036-2037	1.00439	1.00945	0.99655	1.00352	0.99646	1.00561	0.98945	0.99686
2037-2038	1.00437	1.00936	0.99654	1.00351	0.99644	1.00558	0.98934	0.99685
2038-2039	1.00435	1.00927	0.99653	1.00349	0.99643	1.00555	0.98922	0.99684
2039-2040	1.00433	1.00919	0.99651	1.00348	0.99642	1.00552	0.98911	0.99683
2040-2041	0.99315	0.99881	0.99337	0.99376	0.99135	1.00000	0.99435	0.99303
2041-2042	0.99311	0.99881	0.99332	0.99372	0.99127	1.00000	0.99432	0.99298
2042-2043	0.99306	0.99881	0.99328	0.99369	0.99120	1.00000	0.99428	0.99293
2043-2044	0.99301	0.99881	0.99323	0.99364	0.99112	1.00000	0.99425	0.99288
2044-2045	0.99296	0.99881	0.99319	0.99360	0.99104	1.00000	0.99422	0.99283
2045-2046	0.99291	0.99881	0.99314	0.99356	0.99096	1.00000	0.99419	0.99277
2046-2047	0.99286	0.99881	0.99309	0.99352	0.99088	1.00000	0.99415	0.99272
2047-2048	0.99281	0.99880	0.99305	0.99348	0.99079	1.00000	0.99412	0.99267
2048-2049	0.99276	0.99880	0.99300	0.99344	0.99071	1.00000	0.99408	0.99261
2049-2050	0.99270	0.99880	0.99295	0.99339	0.99062	1.00000	0.99405	0.99256
2050-2051	0.99265	0.99880	0.99290	0.99335	0.99053	1.00000	0.99401	0.99250
2051-2052	0.99260	0.99880	0.99285	0.99330	0.99044	1.00000	0.99397	0.99245
2052-2053	0.99254	0.99880	0.99280	0.99326	0.99035	1.00000	0.99394	0.99239
2053-2054	0.99248	0.99880	0.99274	0.99321	0.99025	1.00000	0.99390	0.99233
2054-2055	0.99243	0.99879	0.99269	0.99317	0.99016	1.00000	0.99386	0.99227
2055-2056	0.99237	0.99879	0.99264	0.99312	0.99006	1.00000	0.99383	0.99221
2056-2057	0.99231	0.99879	0.99258	0.99307	0.98996	1.00000	0.99379	0.99215
2057-2058	0.99225	0.99879	0.99253	0.99302	0.98986	1.00000	0.99375	0.99209
2058-2059	0.99219	0.99879	0.99247	0.99298	0.98975	1.00000	0.99371	0.99203
2059-2060	0.99213	0.99879	0.99241	0.99293	0.98965	1.00000	0.99367	0.99196

※2015年以前の総走行台キロ伸び率は自動車燃料消費量調査や過去の全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)等を基に算定

## (2) 将来交通需要の展望

「沖縄県総合交通体系基本計画（令和4年10月14日）」の「将来交通需要の展望」を参考に、本市の将来予測を踏まえつつ、各交通における将来需要の展望と各交通の方向性を整理します。

### （新型コロナウイルス感染症拡大による影響）

- 入域観光客に関しては、運休・減便等により短期的には新型コロナウイルスの影響を受けていますが、回復する時期（各交通の再開）を見極める必要があるものの、中長期的な予測はあまり変わらないと想定されます。

### （航空交通）

- 宮古空港と下地島空港の2つの空港があり、令和元年は171万人が利用しています。
- 宮古空港は、各主要都市から運行されており、下地島空港は、東京（成田）、神戸、那覇からLCCが運行しています。なお、香港を結ぶ航路は、運休となっています。

**想定シナリオ①：新型コロナウイルスの影響前まで回復。さらに、下地島空港では、国際線などが新規に就航する。**

- ⇒短期的には、感染症拡大前の水準を目指す。
- ⇒特に下地島空港における国際線やプライベートジェット機等の受入強化に取り組む。（新・沖縄21世紀ビジョン基本計画）
- ⇒生活を支える路線として、路線の確保、維持及び改善を図る。

### （海上交通）

- 宮古島と周辺離島（多良間島、大神島）を結ぶ旅客フェリーが運行されています。令和元年から令和2年は、いずれも減少しているが、大神島～島尻航路は46.5%まで減少しています。
- 平良港においては、国際クルーズ船等の寄港により、平成30年度は153回（約45万人）寄港しましたが、令和2年度・令和3年度には新型コロナウイルス感染症の影響により0となっており、令和4年度に寄港が再開（1回）しています。受入強化のため、令和3年度の大規模クルーズ船の岸壁が完成し、税関、出入国審査、検疫などを行う平良港旅客受け入れ施設（CIQ）が整備されています。
- 今後、高齢者世代の富裕層の増加や、近隣東アジア諸国における所得水準の向上等により、国際観光需要、国際クルーズ船需要の回復・増加が見込まれます。

**想定シナリオ②：新型コロナウイルスの影響前まで回復。さらに、平良港における国際クルーズ船の寄港が増える。**

- ⇒短期的には、感染症拡大前の水準を目指す。
- ⇒平良港の大規模クルーズ船の岸壁の整備、平良港旅客受け入れ施設（CIQ）の供用開始により、インバウンド需要の増加を目指す。
- ⇒生活を支える路線として、路線の確保、維持及び改善を図る。



(陸上交通)

- 本市の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所（平成30年推計）によると、中間年次の令和12年で、約45,000人、目標年次の令和22年で約43,000人程度まで、減少することが予想されます。
- 本市の将来予測では、目標年次の令和22年までは、自動車交通量は増加すると予想されており、人口減少に伴う市民の移動は減少する可能性が高いが、観光需要やその他の関係人口の増加などにより、交通量は増加することが見込まれます。
- 特に平良港における国際クルーズ船の寄港再開、宮古空港、下地島空港の2つの空港における国際線の再開などにより、今後の観光需要の増加が見込まれ、入域観光客などの交通結節点から発生する交通に対する対応が求められます。
- 市民生活の市役所の移転等に伴う都市構造の変化により、市役所周辺の交通量の増加など、交通流が変化しています。

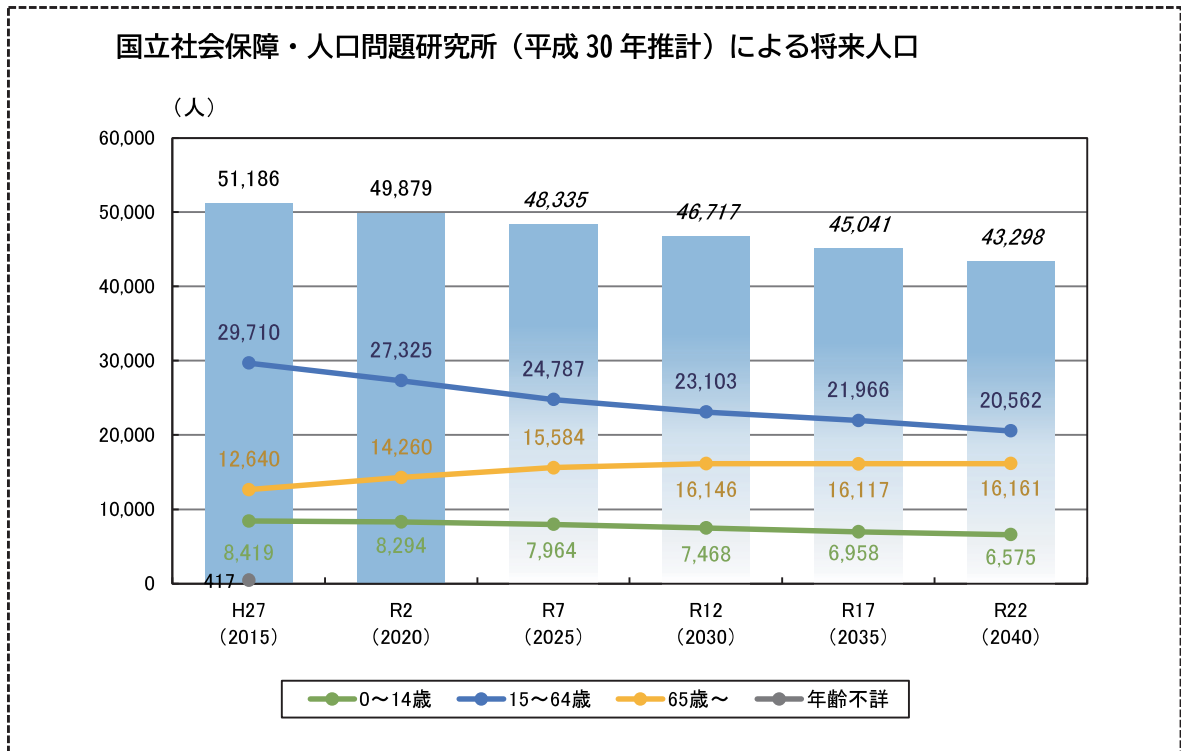
想定シナリオ③：入域観光客が回復しない。

- ⇒当面、増加が見込まれる交通、都市構造の変化による交通流の変化への対応を図る。
- ⇒少子高齢社会の本格到来を受けて、年齢構成や地域ごとの特性の違いを踏まえた取組を図る。

想定シナリオ①・②：航空交通・海上交通による入域観光客が増加。

- ⇒航空交通及び海上交通の動向に注視するとともに、想定される入域観光客数の増加に対する交通結節点における二次交通の充実など、市民・観光客の円滑な移動を支える交通体系を実現する交通手段の提供を目指す。

(参考) 将来人口の見通し



## 7 問題・課題の整理

本市の地域特性と現況分析や、住民アンケート調査やレンタカー利用者アンケート調査、事業所アンケート調査、地域別意見交換会といった実態調査結果などを踏まえ、総合交通体系を取り巻く問題・課題を整理します。

### 【宮古島市を取り巻く社会動向】

- ①人口減少と少子高齢化の進行
- ②地球温暖化・環境問題の深刻化
- ③情報化社会（ICT）の進展
- ④観光需要の高まり
- ⑤新型コロナウイルス感染症拡大による新しい生活様式の実践



### 【総合交通体系を取り巻く問題・課題】

#### ①多様な各公共交通機関の役割分担の明確化と機能強化

宮古島市の公共交通機関は、既存の飛行機やクルーズ船・航路、路線バス、タクシー及びスクールバスに加え、観光客をターゲットした宮古島ループバス（期間限定）や、宮古島 MaaS 実証実験（相乗りタクシーと新たなサブスクリプションサービス）といった新たな輸送サービスが取り組まれています。

これら多様な各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮するためには、宮古空港周辺などまちづくりの変化に対応しつつ、それぞれの役割分担を明確化し、行政、市民、事業者と連携・協働による機能強化を図りながら、市民や観光客の足として効率的・効果的な公共交通ネットワークの再編が必要です。

#### ②新たな地域交通手段の導入による移動手段の確保

全国的には「人の移動」に関する社会情勢が大きく変革しており、地域内の足の確保や観光振興、中心市街地の活性化など地域が抱える交通課題の解決へ向けて、グリーンスローモビリティ、超小型モビリティなどの導入が進められています。

宮古島市でも多様化するニーズへの対応、運転手不足や高齢化への対応などの観点から、宮古島ループバス、がんずうあいのりタクシー等の MaaS 社会実験を行っています。

市民アンケート調査では、外出する時に2割弱の方の交通手段がなくて困っており、特に自動車運転免許が無い方や自動車を持っていない方で困り具合が高く、地域別意見交換会でもコミュニティバスやデマンドバスなど新たな地域交通手段を求める意見が挙がっています。

このため、社会実験の結果や評価を踏まえつつ、地域の移動実態やニーズに対応した新たな地域交通手段を導入するなど、移動手段の確保について検討することが必要です。



### ③宮古空港～中心市街地～平良港間（市街地骨格軸）の公共交通の利便性向上

平良地域は商業施設、病院及び公共施設など多様な都市機能が集中しているとともに、宮古空港や平良港等交通の要所でもあります。一方で、路線バスは宮古島市役所など中心部を拠点に、放射型にネットワークされているため、地域別意見交換会ではこれら施設を連絡する公共交通の導入に対する意見が挙がっています。

宮古空港～中心市街地～平良港間は「市街地骨格軸」として連携を強化し、路線バスの利便性向上を図るとともに、新たな公共交通システムの具体的な運行内容や方策の必要性（導入効果等）を検討し、充実にすることが必要です。

### ④拠点間ネットワークの充実に支援する交通結節点の機能強化

宮古島市の将来のまちづくりの方向性として、「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」で平良市街地及び市役所周辺、空港・港、旧庁舎等周辺及び観光拠点間のネットワーク機能の強化・連携が掲げられています。

平良港、宮古空港、下地島空港、中心市街地及び市役所といった交通結節点については、既存公共交通機関や新たな輸送サービスに加えて、レンタカーやレンタサイクルが配置されています。

これら交通結節点について、公共交通機関同士や移動手段の相互連携を図るよう、拠点機能の位置付けや役割、担うべき導入機能を明らかにしながら、拠点間ネットワークの充実に目指すことが必要です。

### ⑤観光客の回遊性向上と安全な交通環境の確保

観光入込客数はこれまで急激に増加したものの、令和元年度より新型コロナウイルス感染症の影響により減少していますが、ホテル建設などが進み、新型コロナウイルス感染症の収束後には観光需要の高まりが期待されています。

観光客の移動の大半は、レンタカー利用となっていますが、レンタカー利用者調査では、公共交通が運行された場合、利用意向が8割弱と高く、来訪先として池間島、来間島、いらぶ大橋・海の駅など多くの観光地を訪問しています。

このため、移動手段の選択肢を増やし、回遊性の向上を支援する官民連携による地域交通手段やICTなど活用について検討するとともに、レンタカー利用から公共交通等への転換可能性を模索することが必要です。

また、観光客のレンタカー関連の交通事故も多くなっており、交通事故の発生を未然に防ぐため、本市の地域特性を踏まえた観光客等への交通安全の意識醸成のほか、道路の適切な維持管理や交通安全施設の整備・点検により、交通事故が起きにくい安全な交通環境の確保が必要です。

### ⑥地域や輸送資源との連携・活用による移動手段の提供

これまで持続可能な地域づくりを目指した「小さな拠点づくり」について、大神島（自治会が主体となった移動販売車の運用）や、狩俣地区で事業を進めており、移動手段といった役割だけでなく、まちづくりと連携した取組が必要です。

また、公共交通機関以外にもスクールバス（結の橋学園、城東中学校）や民間企業送迎バス（ホテル、宮古自動車学校、三和自動車学校など）が運行中で、これら輸送資源との連携を図りつつ、観光施設や宿泊施設など多様な主体・資源との連携・活用について検討することが必要です。

### ⑦多様な主体の連携による持続可能性の確保

公共交通を維持するためには、運転手の確保が必要不可欠ですが、交通事業者アンケート調査では路線バス、タクシー事業者で運転手の不足が挙げられているほか、バス乗務員・タクシー乗務員の高齢化が進むなど、公共交通を担う人材の確保が難しい状況にあります。

一方で、市民アンケート調査では公共交通に関する財政負担の考え方で、「市が財政負担をし、主になって公共交通を充実していくことに加えて、住民、企業などが協力し合って維持していくべきだ」が37.3%と最も高くなっています。

そのため、市民（地域）、交通事業者、行政が役割分担を図りながら、多様な主体の連携により、持続可能な仕組みづくりを構築することが必要です。

### ⑧国際クルーズ拠点形成や市役所周辺まちづくりなど需要に対応した 幹線道路ネットワークの再編

国際クルーズ拠点の形成や、市役所周辺のまちづくりなどに伴い、交通需要の変化が予想される中で、都市計画道路の未整備区間における段階的な整備促進や、自動車利用の適正化や自動車から公共交通への転換促進により交通渋滞の緩和を図ることが必要です。

さらに、国内外からの観光客の増加など将来交通需要を見据えつつ、地域間連携強化や地域活性化促進を支援する都市計画道路をはじめとする幹線道路ネットワークの検証が必要です。